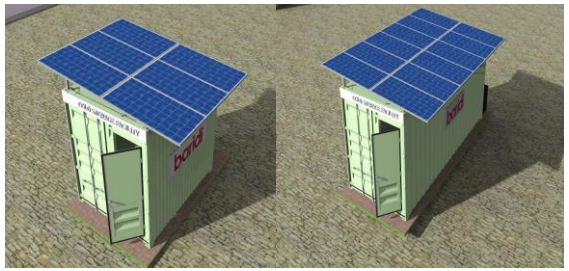
NINJA ACCELERATOR IN KENYA Cohort 3

BARIDI
"All You Can Chill"

会社概要

設立年	2018
従業員	5-15
国	ケニア
分野	アグリテック
Web	https://baridi.co.ke/

事業概要



取組み課題/ニーズ
- ケニアの生鮮市場では、肉や魚の冷凍保存が不十分/不適切な為、バリューチェーン上における肉/魚のロスは果物や野菜のそれと比べて3倍多い状況である

サービス/ソリューション
- 牛肉と魚にフォーカスしたPay-as-you-Store又はLease-to-Ownによる太陽光発電型冷凍室の提供

特徴/独自性
- -18℃までの対応が可能
- 高付加価値でより高い利益率が見込める肉/魚のバリューチェーンに注力している

実績
- 冷凍室3台をサービスイン
- 約600のユーザーにサービス提供し、それらを通して6.3tのCO2排出量削減を実現

創設者

Tracy KimathiはBARIDIの取締役。ビジネス開発、資金調達、チームビルディングや組織活性化に係る5年間の経験を有しており、BARIDI以前は、ミニグリッドの開発にも携わっていた

調達実績

Date	Stage	Amount	Sources
2020	Grant	$32,220	Royal Academy
2020	Grant	$1,990	MIT
2021	Grant	$40,000	Gogettaz
2021	Grant	$107,958	EEP
2022	Grant	$99,910	CCI
2022	Grant	$8,175	Aston University
2022	Grant	$4,000	OGCCC

今後の事業展開

- 2025年までに、Lease-to-ownのB2Bクライアントを10社獲得する
- B2Bの顧客開拓に向けてセールスチームを組成する
- Pay-as-you-storeモデルの肉/魚/果物の再販など、追加の収益ストリームを開発する
- サステナブルな事業成長に向けて肉のバリューチェーンに関わる主要な市場インフルエンサーと提携し全国展開を図る
- ケニアの主要な肉/魚を扱う生鮮市場への進出を皮切りに、東アフリカ全域へ横展開する

MAZI MOBILITY

"Moving people, data, and things"

会社概要

設立年	2019
従業員	10 (フルタイム)
国	ケニア
分野	モビリティ、ロジスティクス
Web	https://www.mazimobility.com/

創設者

Jesse ForresterはMazi Mobilityの創業者兼CEO。経済学とスタートアップ起業に精通しており、ソーシャルビジネスやスタートアップに係る5年以上の経験を有している

調達実績

Date	Stage	Amount	Sources
2021	Grant	$31,579	KYEOP
2021	Grant	$6,930	OXFORD AFRICA
2022	Grant	$50,000	Mulago Foundation
2022	Grant	$12,000	KCIC
2023	Seed	$85,000	DEG- DeveloPPP Ventures

事業概要

取組み課題/ニーズ
- ケニアの輸送システムは乗り物の種類や道路の構造上、個別最適で断片化されているため、非効率的な輸送となっており環境への悪影響が大きい
- ガソリン価格の上昇により、バイクの運転手は給与の手取り額が目減りしており、生活が苦しくなっている

サービス/ソリューション
- 電動バイクと24/7稼働のバッテリー交換ステーションを備えたMaaSエコシステムを構築する

特徴/独自性
- ケニア現地で製造されたバッテリー交換ステーション（2週間で設置可能）
- 独自性の高いソフトウェアとハードウェア

実績
- 50のユーザー（ケニア、コンゴ、南アフリカ、ナミビアでのバイク販売）
- 3PLの顧客に対して電動バイク5台を提供して配送業務を支援
- Three Wheels United社との覚書（電動バイク提供に係る事業提携）

今後の事業展開

- 3か月以内にワークショップなどを通して45台のバイクを販売する
- 半年以内にバッテリー交換ステーションを10か所展開する
- 技術革新と研究開発強化に向けてチームを強化する
- 上記を通して、市場での信頼性を確立し、MAZIのブランドイメージを構築する

MEGA GAS

"Plastic Waste to Clean Energy"

会社概要

設立年	2016
従業員	14 (フルタイム 7, パートタイム 7)
国	ケニア
分野	再生可能エネルギー、廃棄物管理、リサイクル
Web	https://www.megagasalternativeenergy.co.ke/

創設者

Peter NjeriはMEGA GASの共同創業者兼CEO。英国ケンブリッジ大学ではリーダーシップを学び、ケニヤッタ大学ではマーケティングの学位を取得。ビジネス開発において7年以上の経験を持ち、現在はチームのオペレーションを統括

調達実績

Date	Stage	Amount	Sources
2017	Non-monetary Grant	$1,000,000	Microsoft
2019	Grant	$50,000	Royal Academy of Engineering
2021	Grant	$9,500	Climate KIC
2022	Grant	$200,000	Government of Canada
2023	Grant	$100,000	Global Citizen

事業概要

取組み課題/ニーズ
- ケニアでは人口の約65％が調理時にクリーンなエネルギーを利用できていない
- ナイロビでは、約2,400-2,600tのプラスチックごみが毎日埋立地や川に流れ込んでおり、環境悪化の要因となっている一方、リサイクル率は8％程度にとどまっている

サービス/ソリューション
- プラスチック廃棄物を基に調理用ガスを製造し、低所得層に販売（6kgシリンダーで$4）。また、Pay as you Goのコミュニティキッチンも運営

特徴/独自性
- 特許取得した独自の熱分解プロセスにより、製造過程で排出物や汚染物が一切発生しない
- Community based approachとして、コミュニティキッチンの展開やコミュニティと連携したプラスチック廃棄物の収集を実施

実績
- 2つのコミュニティキッチンを通して、これまで10,000世帯以上にサービス提供
- 毎月約270tのCO_2排出量削減を実現

今後の事業展開

- Pay-as-you-goモデルを導入し、月あたりの顧客ベースを15,000人に増加させる
- ガスボンベの容量を増加させるために関連事業者との提携を実現する
- 特に女性向けの認知度向上とコミュニティキッチン数の増加を実現する
- アフターサービスと定期的な顧客満足度調査を通じて顧客の維持率を向上させる

Y-CENTER SHAMBA SOLUTIONS

"Empowering communities through Agriculture"

会社概要

設立年	2020
従業員	10 (フルタイム 2, パートタイム 8)
国	ケニア
分野	アグリテック
Web	https://www.ycenterssl.com/

事業概要

取組み課題/ニーズ
- 土壌の健康を悪化させてしまう農法が小規模農家を中心に実践されている。例えば、合成肥料や農薬、殺虫剤の過度の使用、土壌の劣化、それらに起因する作物生産性および品質の低下など

サービス/ソリューション
- 小/中規模農家向けに土壌の状態を迅速にテスト/分析する為のIoTツールを提供
- 土壌組織向上や栄養素の吸収を助けるバイオ炭の提供

特徴/独自性
- 環境に優しい持続可能な農法と革新的なIoT技術を組み合わせた包括的なパッケージ
- 土壌テストは15分で完了
- 訓練を受けた地元の若者が軸（チャンピオン）となり、顧客である各農家にアフターサービスを提供

実績
- 主要作物の栽培と土壌テストのサービスプロバイダーとして、ムランガ県との業務提携を締結
- 3か月で800人の農家ユーザーに対し、有料サブスクリプションサービスを提供
- サービス導入したキアンブ県の農家のキュウリ、ピーマン、およびハーブの収量25％増加及び生産コスト15％減少を実現

創設者

Derrick NgigiはY-Center Shamba Prideの創業者。機械工学及びソフトウェア開発双方における高い専門性を有しており、農業分野での高い知名度と実績を残している

調達実績

Date	Stage	Amount	Sources
2023	Seed	$15,000	GODAN Programme for Capacity Development

チャンダリア・インキュベーション・センターの4年間無償インキュベートプログラムに採択されている。2027年に終了予定

今後の事業展開

- 収益拡大に向けて、毎月1000袋のバイオ炭販売を目標。まずは足元3か月で30個の土壌テストキットを販売予定
- 女性と若者をチャンピオンとして取り込み、土壌テストキットを潜在農業顧客に展開する
- 西ケニアへの拡大に向けて、地元業者と提携する

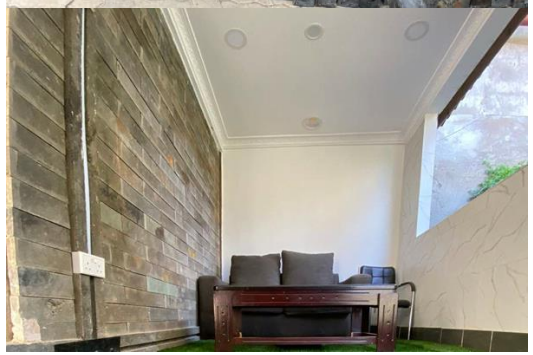
TIMAO GROUP

“Revolutionizing Affordable Housing in Africa”

会社概要

設立年	2020
従業員	30(フルタイム 12, パートタイム 18)
国	ケニア
分野	建設工事
Web	https://timaogroup.co.ke/

事業概要



取組み課題/ニーズ

- 2021年、ケニアでは200万戸の住宅が不足しており、2030年までに340万戸に拡大するとされている
- ナイロビでは、約2,400-2,600tのプラスチックごみが毎日埋立地や川に流れ込んでおり、環境悪化の要因となっている一方、リサイクル率は8％程度にとどまっている

サービス/ソリューション

- リサイクルプラスチックを基にした建材（レンガ、梁等）の製版
- 費用対効果が高く、環境に優しい建材を企業や社会団体に提供

特徴/独自性

- 10tのプラスチック廃棄物をリサイクルを通して、40m²の1ベッドルームユニット（1-2Kサイズ相当の間取り）を建設可能
- 建設は5日、解体は3日程度で実施可能
- 製造プロセス上で不良品が見つかっても、それが再度リサイクルに回されるのでロスが出ない

実績

- 45戸（$450M）の事前契約を獲得し、更に100戸に係る意向書（LOI）を締結済
- これまで350t以上のプラスチック廃棄物のリサイクルを実施

創設者

Ishmael Hezekiahは共同創業者でプロダクトリーダー。プロジェクトマネージャーとしてのスキルに優れ、組織変革やプロセス自動化、社会起業に係る高い専門性を有している

Jean T James は共同創業者で、マーケティング、企業成長、サステナビリティを管掌。包括的なサステナビリティ戦略の開発と実践、サーキュラーエコノミーを基にした事業企画、イニシアチブの推進を担当している

調達実績

Date	Stage	Amount	Sources
2023	Grant	$1,000	ASME Innovation Showcase

今後の事業展開

- 3-6か月以内に新しいB2Bクライアントを3社確保する
- 現地の職人や開発者と提携し、製品の普及を推進する
- エコフレンドリーな製品を使用した「低コスト」住宅プロバイダーとしての信頼と評判を確立し、新たな顧客獲得につなげる
- 投資グループなど、手頃な住宅を探しているさまざまなグループ向けのモデルハウスを開発する

Project NINJA

NINJA ACCELERATOR IN KENYA

THANK YOU!

Let’s talk advice and support!

Project NINJA JICA Double Feather Partners Deloitte. デロイト トーマツ growthafrica